

平成30年度 ドイツ視察派遣事業

国際ビジネス支援センターでは、県内企業の皆様の関心の高い国・地域における、今後のビジネス展開（投資、輸出、輸入、業務提携等）の可能性や課題を把握するため「視察研修団」を派遣し、現地市場や法規制の確認、現地進出企業の操業状況や物流状況の視察などによるビジネス環境の調査を行っています。

本年度はEU中枢の貿易大国であり、世界有数の先進工業国である「ドイツ」を訪問し、関心の高まるAI, IoTを活用した「インダストリー4.0」の取組をはじめとした先進技術や、日独の主要産業である自動車関連ビジネス等について調査を行いました。

【期間】平成30年4月15日(日)～4月20日(金)

【参加者】9社・団体、14人

【訪問先】<シュツットガルト及び近郊>

- ・ボッシュ社工場（自動車部品他／インダストリー4.0）
- ・ダイムラー工場（自動車メーカー／インダストリー4.0）
- ・SEW Eurodrive GmbH（モーター他／インダストリー4.0）
- ・メッツィンゲン アウトレットシティ（繊維ファッション／アウトレット化した街の経済効果）
- ・メッセシュツットガルト（展示会会場／MICEの経済効果）

<フランクフルト>

- ・マツダヨーロッパR&Dセンター（自動車メーカー／地場企業の欧州戦略等）

<ハイデルベルグ>

- ・ゼロエミッションタウン（エコタウン／環境配慮した街づくり）

【参加者の感想】

- ・生産工程の効率化にインターネットを活用したインダストリー4.0の活用が始まっていることは知っていたが、今回その運用方法の実態がよく分かった。早速自社でも管理ラインから順次導入することとした。
- ・ボッシュ社を始め、通常では見学のできない技術などを学ぶことができ、大変バリューの高い研修であった。
- ・ドイツがリーダーとなって推進している物づくり革新=INDUSTRY4.0の現場を視察し、今後の製造現場管理のあるべき姿を見せられているような感覚であった。日本の遅れを感じ、危機感の募る視察であった。
- ・生産管理からゼロエミッションの街づくり、MICEと幅広い分野の視察であり、今後のビジネスのヒントとなった。



ハイデルベルグゼロエミッションタウン開閉可能な外壁



ダイムラー社工場見学を待つ参加者



マツダヨーロッパR&Dセンターでの記念撮影

お問い合わせ

国際ビジネス支援センター TEL 082-248-1400 FAX 082-242-8628